

韓国

マクロ経済動向

8月21日に発表された韓国の2001年第2四半期のGDP成長率は、前期比0.5%の伸びに止まり、低迷が続いている。内訳を見ると消費は前期比3.0%とプラスに回復したが、投資は同1.4%のマイナスとなった。

これを受けて陳稔副首相兼財政経済相は、今年の経済成長率は政府が当初目標としていた5~6%を下回り、3~4%程度に止まるとの見通しを示した。

製造業生産指数も低下を続けており、6月には前年同期比6.1%のマイナスとなり、景気の下降傾向を鮮明に示している。

輸出は低迷を続けており、7月には115.7億ドルまでこれは99年8月以来の低水準である。物財の貿易収支は7月の速報値で9.3億ドルに縮小しており、今後の動向しだいでは、貿易収支及び経常収支の赤字化が懸念される状況となっている。

今後の見通しとしては、外需の不振は米国の景気後退の本格化、世界的なITブームの剥落による半導体価格の低迷などの要因によるものであり、短期的な回復は期待し難いと思われる。

一方、内需面での掘り入れでは、財政政策については、これまでの景気対策によって国債の発行残高が増加しており、大規模な発動は困難と見られる。金融政策については、既にコール金利目標値が7、8月に2か月連続して引き下げられており、景気回復を目指した方向が取られている。今後、もう一段の緩和も予測されるが、金融緩和単独での景気への効果は限定されたものとなる。

個別企業の処理

個別の問題企業の処理は引き続き難航している。

大宇自動車の米GMへの売却は現時点で未成立である。GM側は買収にあたって、旧式化している富平(プビョン)工場の切り離しなどの条件をつけており、これらが障害となっている。陳稔副首相は売却が成立しない場合、政府として何らかの代替案を検討していると述べている。しかし、実際には一時的な国有化などの論評されている措置をとることは困難と考えられ、大宇自動車の再生は厳しい状況と言える。

旧現代財閥から分離したハイニクス半導体(旧現代電子)も困難に直面している。国際的な競争の激しい半導体市場において、最近のDRAMをはじめとする市況の低迷は、同社の再建を難しいものにしていく。株価は既に額面を割っており、8月28日には社債の償還の凍結が発表された。同社の負債は11兆ウォンにのぼっており、法定管理(日本の会社更生法適用に相当)に移行した場合、債権者である金融機関の経営への影響は甚大と見込まれる。同社は金大中政権初期の「ビッグディール(財閥間の事業交換)」でLG半導体を合併した経緯があり、これが経営上の負担となったとの見方もある。破綻すれば政府の産業政策に関する責任も問われることとなる。

同様に旧現代財閥から分離した現代証券、現代投信証券、現代投信運用の金融3社については、米国の保険会社AIGによる買収交渉が進展し、8月23日に政府との間で覚書が取り交わされていた。ところがその後、買収にあたって発行される現代証券の株価をめぐり、AIG側から異議が出されており、今後の動向は不透明となっている。3社の買収が白紙にもどされる事態となれば、資本市場への悪影響は避けられないと見られる。

(ERINA調査研究部研究主任 中島朋義)

	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2000年7-9月	10-12月	2001年1-3月	4-6月	2001年5月	6月	7月
国内総生産(%)	6.8	5.0	6.7	10.8	8.8	2.4	0.4	0.3	0.5	-	-	-
最終消費支出(%)	7.2	3.2	9.8	9.4	6.2	0.3	0.4	1.4	3.0	-	-	-
固定資本形成(%)	7.3	2.2	21.2	3.7	11.0	0.9	4.9	2.6	1.4	-	-	-
製造業生産指数(%)	8.3	4.5	6.6	25.0	17.1	19.6	7.4	4.9	1.5	2.1	-3.1	-
失業率(%)	2.0	2.6	6.8	6.3	4.1	3.9	4.0	4.2	3.7	3.6	3.6	-
貿易収支(百万USD/兆)	14,965	3,179	41,627	28,371	16,601	5,411	4,163	3,460	5,204	2,090	1,808	926
輸出(百万USD/兆)	129,715	136,164	132,313	143,686	172,268	44,376	45,214	40,098	38,570	13,362	13,074	11,570
輸入(百万USD/兆)	150,339	144,616	93,282	119,752	160,481	40,405	41,440	38,046	34,457	11,527	11,725	11,111
為替レート(ウォン/USD/兆)	805	951	1,399	1,190	1,131	1,115	1,164	1,271	1,306	1,299	1,294	1,303
生産者物価指数(%)	3.2	3.9	12.2	2.1	2.0	2.6	1.6	2.5	3.2	3.4	2.8	2.7
消費者物価指数(%)	4.9	4.5	7.5	0.8	2.3	3.2	2.9	4.2	5.3	5.4	5.2	5.0
株価指数(1980.1.4=100)	833	655	406	807	734	712	540	574	578	601	603	554

(注) 失業率は水準、製造業生産指数、生産者物価指数、消費者物価指数は対前年同期比伸び率、その他のパーセンテージ表示系列は前期比伸び率

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、失業率は季節調整値

貿易収支はIMF方式、輸出入は通関ベース

(出所) 韓国銀行、国家統計庁他